

## 大田区周辺立体地図について

### 1 概要

近年、大規模な水害が全国各地で発生している。令和元年の台風19号では、大田区でも一部地域で浸水被害が発生するなど、水害への備えの大切さを改めて実感する事態となった。ますます激甚化する風水害から命を守るためには、区民一人ひとりの適切な避難行動が重要である。そうしたことから、区民の水害に対する認識を深め、水害への備えをより一層進めていただくことを目的に高低差や分水嶺を視覚的に確認できる立体地図を作成した。

### 2 内容

#### (1) 仕様

A2版、横向き壁掛け型

#### (2) 台数

20台（特別出張所18、防災危機管理課1、外部持出し用1）

#### (3) 特徴

ア 大田区周辺の地形を視覚的に把握できるように高低差を強調して表示。

イ 立会川や矢沢川など、区の浸水被害に影響を与える近隣河川も含めて表示。

ウ 水害時緊急避難場所89か所、土のう置場26か所を表示。

### 3 活用方法

(1) 来庁者の防災意識の向上を図るため、窓口等にハザードマップと合わせて展示し、自宅周辺の災害リスクについての理解促進を図る。

(2) 総合防災訓練など、区主催の防災関連イベントにおいて、展示ブースを設置し、参加者に区内の地形を理解してもらった上で訓練等に参加してもらうなど、事業効果の更なる向上を図る。

(3) 区職員による出前講座において、当該立体地図を用いた分かりやすい説明をすることで、視覚的に大田区の高低差を体感してもらい、早期避難の重要性等の理解を深めてもらうとともに、風水害に対する事前の備えを促す。

(4) 防災DVDなどと同様に、区民に貸し出す仕組みを整え、地域の防災訓練や各種イベント等で積極的に活用してもらう。

### 4 配置

令和2年9月下旬

### 5 完成イメージ

別紙のとおり

